



vol. **12**  
2021  
SPRING

# がけはし

桃山学院大学教育後援会だより

## 特集

- ◆ キャリアセンターからのお知らせ
- ◆ 新型コロナウイルス感染症に対する本学の取り組み
- ◆ ビジネスデザイン学部開設

5 4 1

# キャリアセンターからのお知らせ

2020年はあらゆる面で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた1年となりました。2021年3月卒業の大学生の就職活動、企業の採用活動もかなり大きな影響を受けました。同感染症の影響による経済の落ち込み、不透明さを考慮して、2019年度まで非常に高かった企業の採用意欲は低下し、学生有利の就職活動の「売り手市場」は一変しました。感染症対策として3月以降は徐々に外出自粛のムードが社会に漂いだし、4月の緊急事態宣言以降は一気に行動が制限されることとなりました。学生は企業やイベント会場に出向いて説明会やセミナーに参加することが出来なくなり、企業側も直接学生に会うことが出来なくなりました。そのためオンラインでの就活イベントが一気に増えましたが、全ての企業・学生がこの変化に上手く対応できたわけではありません。オンラインでの説明会や選考に関するノウハウがほとんどない企業が多く、学生も急なオンライン化に戸惑うことになりました。例年であれば就職活動のピークとなる3月・4月に学生は企業との接点を持たない、他の学生との就職活動の情報交換ができないなど、十分に活動できない状況になりました。その後も外食産業・観光宿泊業・航空業界など同感染症の影響を大きく受けた業界の企業の求人が激減するなど、就職活動をしている学生には厳しい状況が現在も続いています。厚生労働省・文部科学省の両省が昨年11月17日に発表した2021年3月卒業の大学生就職内定率(10月1日現在)は前年の同時期と比較して7.0%低い69.8%でした。

このようにコロナ禍で学生を取り巻く社会の環境、就職活動のスタイルが大きく変化したことにあわせて、キャリアセンターの学生に対する就職支援もそれに対応すべく大きく変わり、コロナ禍でも必死に就職活動を続けている学生の力に少しでもなりたいという想いで、様々な支援プログラムを実施してきました。4月以降、学生がキャンパス内に入れない状況が続く中、キャリアセンターとして履歴書作成・面接・グループディスカッション・志望動機・筆記試験などの対策講座の動画配信とオンデマンド化、オンラインミーティングツール『Zoom』を活用してのWEB面談、本学学生を積極的に採用していただける企業に参加していただく学内WEB企業説明会、『LINE』を通じた求人情報の配信などを実施してきました。また、緊急事態宣言が解除されて以降は、三密の回避や除菌、消毒、検温などの感染症予防を徹底して、対面式での履歴書作成、筆記試験対策講座、学内インターンシップ、その場で企業に選考までしてもらえる学内企業説明会の開催など対面での支援もおこなってきました。多くの学生が厳しい状況の中でも、諦めずに就職活動を続けてくれているおかげで、本学の内定率も昨年度の水準には達しないまでも、その数字に近づいてきています。一方で、企業からの内定獲得を目指して、まだ諦めずに就職活動を続けている学生もおります。そういった学生に対して、1人でも多くの学生が笑顔で卒業できるように支援をキャリアセンター一同継続してまいります。



# コロナ禍での就職活動

前項の『キャリアセンターからのお知らせ』にも書かせていただきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、学生の就職活動は大きく様変わりしました。最も大きな変化の1つとして就職活動のWEB化・オンライン化が挙げられます。ワクチン接種や集団免疫の獲得などによりコロナ禍を克服することができてこの傾向は続くと思われます。それは企業にとってWEB化・オンライン化は採用にかかる費用と時間の削減というメリットがあるからです。このオンライン化の流れですが、今年と来年では異なる部分があります。それはオンライン化への準備期間です。今年度、新型コロナウイルス感染症は想定外で、学生は急なオンライン化への対応が求められました。PC・タブレットやヘッドセットなどの機材やインターネット環境の準備の対応はもちろんですが、オンラインならではのマナーやPCスキルを身に着けることが求められました。ただし、学生も企業側も手探りの中での活動でしたので、細かい部分までは大目に見てもらえる部分もあったかと思えます。しかし、来年度の就職活動ではしっかりと準備する期間があるからこそ、企業は学生のオンライン化への対応について細かい部分までチェックすることが予想されます。そのためには、まずは授業やインターンシップを通してオンラインでのコミュニケーションに慣れること、ZoomやSkypeといったオンラインコミュニケーションツールの使い方をしっかりと学ぶことがコロナ禍・コロナ後の就職活動で重要になります。

このオンライン化は学生に新たな準備を強いる負担増の面だけではなく、実はメリットもあります。それは説明会や選考に参加する際の時間的・経済的負担が軽くなることです。今までは会場まで移動しなければ参加できなかった説明会や選考に、自宅から

参加することが出来ます。つまり、勉強や部活動、アルバイトなどで忙しい場合でも時間の調整が容易になり、企業と接触する機会を今まで以上に確保できるようになったということです。実際に、今年度の就活生からも『部活動で忙しかったが、オンライン化のおかげで多数の企業の説明会に参加することができ、その中から自分にあった企業を見つけ、内定をもらうことができた』という体験談もあります。しっかりと準備さえできていれば、オンライン化は学生にとってもメリットが大きいのです。

コロナ禍での就職活動の変化についてここまで話してきましたが、就職活動の基本はこれまでと変わらず充実した大学生活を過ごすこと、そしてその大学生活で経験したことや学んだことをしっかりと企業に伝えることです。オンライン選考では直接会った際に伝わる「明るい、元気、人懐っこい」などの『印象』が非常に伝わりづらくなっており、だからこその基本姿勢が今まで以上に重要になっています。本学の履歴書においても学生に「研究課題または興味ある科目」「学生生活で力を注いだこと」「自己PR」を書いてもらっていますが、就職活動を本格的に始める時期に、これらのことについて書くこと、話せることがない学生は就職活動で苦戦を強いられてしまいます。逆に、大学生活で何かひとつでも自信を持って「これを頑張っ取り組んだ」というものがある学生は就職活動を上手く進められる傾向にあります。コロナ禍で様々な活動が制限されていますが、その中でも何かひとつでいいので大学生活で必死になれるものを見つけられるように、また見つかった際にはそれに全力で取り組めるように保護者の皆様にはサポートしていただければと思います。その経験を就職活動で活かせるようにキャリアセンターが全力でサポートしていきます。

キャリアセンター  
関連情報

## 就職活動体験記

内定先 きのくに信用金庫

社会学部 社会福祉学科 (4年生)

就職活動中に意識していたことは何事も経験してみることで。3年生になり、就職活動を始めていくにあたって分からないことだらけでした。だからこそ、キャリアセンターの就職関連のガイダンスや講座に早くから参加しました。

その中で早くから履歴書を書くなどの準備をすることがスムーズな就職活動につながる事が分かり、それからは自己分析や実際に履歴書の中心となる「学生時代に力を注いだこと」「自己PR」を書き始めました。自己分析ではマイナビやリクナビなどのツール、友人に協力してもらっての他己分析、高校までの通知表や周囲の方からもらった手紙を見直すなど、自己分析につながりそうなものは何でも実践してみました。その中で自分のどのような点が仕事につながるかが見えてきたので、履歴書の作成に取り掛かりました。まずは自分で考えて書いてみる、それからキャリアセンターで添削してもらうことを繰り返し、3年生の12月にはある程度履歴書を完成させることができました。

業界研究や企業研究についてはとにかく実際に企業に行ってみることを意識しました。気になった企業のインターンシップや職場見学にはなるべく参加するようにしました。これから就職活動をされ

る皆さんは、コロナ禍で直接企業に出向くのは難しいかもしれませんが、一方で企業が用意しているオンラインでのプログラムが充実してきているかと思います。そういったものを上手に活用して、マイナビやリクナビに掲載されていない情報を収集してみてください。

就職活動では履歴書や企業研究以外にも筆記試験・面接・グループディスカッションなどいろいろなことに対して準備していく必要があります。正直、面倒くさいと思うこともありますが、準備することが多いからこそ早めに準備しておくことが重要です。準備さえしっかりとできていれば、その後の対応に余裕が生まれます。

また、来年度もコロナ禍での就職活動になると思われますが、その中でもできることはあります。私自身、緊急事態宣言下の4・5月は説明会等のイベントがストップしてしまいましたが、その期間にも就職活動のため自分ができていることを考えて行動していました。

初めてで分からないことがたくさんあるのが就職活動です。だからといって、分からないまま放っておいても何も前に進みません。まずはやってみる、それでも分からなければキャリアセンターや保護者の方に相談してみてください。そうすることで皆さんの就職活動は前に進みますし、その先に皆さんにとっての良い進路があると思います。



桃山学院大学  
学長 牧野 丹奈子

新型コロナウイルス感染症は多くの不幸をもたらしました。そして同時に働き方や生活様式の見直しを私たちに求めてきました。コロナ禍が終息しても、以前の社会に100%戻ることはいずれも、様々な技術革新と相まって、全く新しい社会が間違いなく到来します。こうした変革期の社会に必要なのは「正解のない問題を解く力」と「オンラインも駆使したコミュニケーション力」です。そこで、本学ではコロナ禍をきっかけに、2020年度春にいち早く遠隔授業の導入を決めました。秋からは対面授業も一部再開しました。ではコロナ禍が終息した後、授業形態はどうなるか。現在、大学では若手教員を中心に「2022年度以降の授業に関するプロジェクトチーム」を立ち上げ、これからの社会に適した新しい授業形態を構築しています。ただ、残念ながら、まだ2021年度においては新型コロナウイルス感染症に関する見通しが不透明です。そこで、2021年度は、2022年度以降の新しい授業形態を見据えながら、感染対策をしっかりと取り入れた、現実的かつ学習効果の高い授業形態を実施しております。

また、皆様にご報告すべき本学の新しい動きの一つとしては、ビジネスデザイン学部の開設があります。2019年4月に開設した経営学部ビジネスデザイン学科が今年4月に学部となり、入学定員も200名へ増員しました。この学部の目的は、斬新で実現可能なビジネスを社会に提案できる人材を育てることです。カリキュラムのひとつの特徴は“実践が先で理論が後”です。たとえば、1年次では社会人と共に企業・団体が抱える約30の課題に取り組みます。そこで体験し感じたことをもとに、2年次以降の理論の勉強へと進みます。また、ビジネスデザイン学部では実務家教員を多数採用しており、14人中7人が実務家教員であり、そのうち4人が起業経験者です。70社超にも及ぶ企業・団体との連携を通じて、学生は常に社会との接点を感じながら学ぶことができます。教場は、大阪市阿倍野区の新しいキャンパス（桃山学院中学校・高等学校横）あべのBDL（ビジネスデザイン・ラボ）です。

新しいビジネスデザイン学部と和泉キャンパスの5学部が協力かつ競争しつつ、全ての学生さんが新しい社会で活躍できるように、教職員一丸となって取り組んでまいります。よろしく願いいたします。

## 聖書の言葉

### 「地の塩、世の光」

新約聖書、マタイによる福音書の第5章13節以下にある「あなたがたは地の塩である。、、、あなたがたは世の光である。、、、」という聖書の言葉に注目します。ここでは紙面の都合上、その譬の表現についてだけ取り上げます。

「地の塩」とは岩塩のことです。塩は料理の味付けに用いられ、塩味として料理に溶け込んで働く性質から、人々の眼には隠れているが、何か他のもののお役に立っている状態、一味加えている状態を表現しているのでしょうか。さらに塩は防腐剤として、腐敗を防ぐ役割があり、宗教的には清めの意味もあります。

次の「世の光」すなわち燈火は、人々の前で堂々と輝きつつ、他の人を輝かせ、お役に立っている状態を表しています。これら二つが並べられているということは、隠れているにしろ、はっきりと姿を現すにしろ、その置かれた場所や状況において、他者のお役に立っている状態を表していると考えられます。しかも、そのようになりなさいと勧めているのではありま

せん。「あなた方は地の塩、世の光である」と断定しています。あなた方が生きて人生を歩んでいること、今のその状態それ自体がすでにそうである。だから決して「私などが、他の人のお役に立つことなどない」と卑下する必要はないのです。



チャプレン  
宮嶋 眞

聖書の時代には、「塩」や「灯火」は貴重品で、その価値は、現在とは比べ物にならないくらい大きいものでした。あなた方はそのように価値ある者であるし、お役にも立っているのです。どうか、堂々とお役に立ってくださると認められ、励まされているように思います。

皆様のご家族が桃山学院大学で学び、また様々な活動に参加される中で、自分自身のあり方についてこのことを確認し、さらに成長されて行くことを心から願っています。

# 新型コロナウイルス感染症に対する本学の取り組み

大学庶務課

本学における2020年度の新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、本学では学校危機対策本部(本部長:学長)を設置し、正課・課外にかかわらず学内の諸活動に関する対応について、迅速に決定できる体制を整えました。

授業に関しては、春学期は原則として「遠隔(パソコン等を使ってのwebによる)授業」、秋学期については一部の授業を、「対面授業」として行うこととしました。また、都度、遠隔授業に対する満足度や改善点をはかるため「遠隔授業に関するアンケート」を全学生に対して行い、その結果を担当教員にフィードバックするなど、授業改善に努めました。課外活動については、指導者の責任の下、日々の健康チェックや検温はもちろんのこと、活動時間や場所に関しても一定の制限を設けたうえで、体育会クラブを中心に徐々に活動を再開しています。上記以外の主な取り組みは以下のとおりです。

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に基づく行動基準の策定
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防マニュアルの策定
- 授業に関するQ&Aサイトの開設
- サーモカメラ(教室棟など)、非接触型体温計(各窓口に配置)による検温の実施
- 入構記録システム(キャンパス入構時に学生証をかざして入構日時を登録)の設置
- 機械換気システムの無い教室にサーキュレーターを設置
- 「ソーシャルディスタンスステッカー」を教室、屋外ベンチに貼付(教育後援会のご支援による)
- 100円夕食の実施(教育後援会のご支援による)
- 自宅での遠隔授業受講用としてノートパソコン、Wi-Fiルーターの無償での貸し出し、和泉キャンパスに「自習室(Wi-Fi完備)」を設置、本町サテライトを自習室として開放



ソーシャルディスタンスステッカー



サーモカメラによる検温



次亜塩素酸ナトリウム消毒液とペーパータオル



学内各所に注意喚起の掲示

2021年度春学期の授業につきましては、新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じたうえで、原則として「対面授業」としますが、履修登録者が多い科目は3密回避のために遠隔授業とします。保護者・保証人の皆様におかれましては、遠隔授業を円滑に受講するためのパソコン等の情報機器および通信環境を整えていただきますよう、ご協力のほどお願いいたします。

(2021年4月12日現在)

# 2021年4月、 ビジネスデザイン学部 スタート!

2019年4月に誕生したビジネスデザイン学科は、2021年4月からはビジネスデザイン学部となり、入学定員も70名から200名へ増加することから、2020年9月、大阪市阿倍野区の新しいキャンパス「あべのBDL」へ移転しました。

ビジネスデザイン学部では、多種多様な課外プログラムを実施しています。

70を超える企業・行政・団体の皆さまにご協力をいただきながら、一緒に学ぶ\*PBL科目(ビジネスデザイン実践)をはじめ、企業人・実務家教員などからじかにリアルなビジネスを学び、教員・上級生・連携企業の社員・学生間でのフィードバック(振り返り)を通じて気づきや学びの機会が豊富にあります。

そのようなプログラムを経ることで、クリエイティブ力(ゼロからイチを生み出す力)・高度なコミュニケーション力(人間関係の中で共感しあえる力)・やり抜く力(強い意志と責任をもって実現する力)、新たなビジネスを創出するためのこの3つの力が自然と身についていきます。

技術革新や社会・経済システムの変化、知識の価値の変化といった社会の大きな変化のなか、ビジネスデザインは世界中で求められています。

新たな社会的価値、革新的なビジネスの仕組みを生み出すことで必要とされるのがビジネスデザインです。単なるモノづくりではなく新しいビジネスをつくる力を学び、社会の変化に対応していける力を身につけてください。

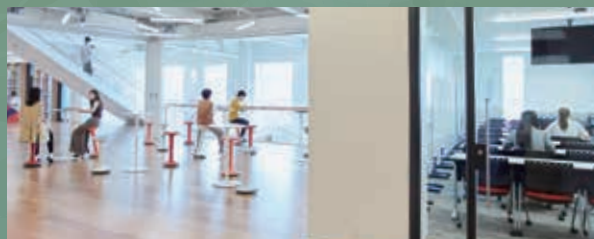
※PBL(Project-Based Learning=課題解決型授業)

企業の商品開発やマーケティングに学生の視点で参加するなど、従来型の連携ではなく、企業人と学生が協力しあって学ぶ方法。学生は企業人から思考と行動パターンを学び、企業にとっては社員研修の側面をもつ。

## あべのBDLとは

「BDL(ビジネスデザイン・ラボ)」はビジネスデザインを研究する・実践する場所という意味が込められており、従来の教場のイメージではなく、新たなビジネスを生み出すための学びの空間として、近年企業等でワーキングスペースとしても取り入れられている、交流と共創を促す最新のフロア設計となっています。

グループワークやプレゼンテーションなど、コミュニケーションスペースを各フロアのホワイエ(ロビー)に配置し、教室も入口の壁を取り外しカーテンとすることでフロア全体をひとつの教場としてつなげるなど、柔軟な発想を生みやすい環境を整えています。Wi-Fi6に対応したアクセスポイントを各フロアに設置、各教室におけるICT設備環境も充実しており、春学期については緊急事態宣言発出前の4月6日より、全ての科目でオンライン授業(遠隔授業)に変更し、新型コロナウイルス感染拡大の状況下でも学ぶ機会の提供を止めることなく続けることができました。



# Congratulations!



3月17日(水)に2020年度卒業証書・学位記授与式が総合体育館メインアリーナで執り行われました。  
今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、午前・午後の2部制で執り行われ、また式典の様子はインターネットでライブ配信されました。  
また、4月2日(金)には、入学式が執り行われ、約1,800名の新入生は感染拡大防止の為、各教室より式典の様子を視聴しました。  
卒業生、新入生も皆さん、夢に向かって新たなステージでがんばってください。



卒業証書・学位記授与式



学長のあいさつ(卒業式)



入学式の様子

## 2021年度 教育・就職懇談会／支部総会について

教育・就職懇談会/支部総会は、例年、全国各地の支部において開催しており、2021年度は9月～10月に開催を予定しています。

教育・就職懇談会では、大学関係者からの近況報告や就職活動に関する講演をはじめ、成績・就職面談も開催しています。また支部総会は、教育後援会支部の活動のご紹介や保護者・保証人の皆さまの交流の機会として開催されています。

新型コロナウイルス感染症の影響によりウェブでの開催となった2020年度と同様に、近頃の感染状況を考慮して、2021年度もウェブで行うこととなりました。

なお、開催の詳細につきましては、7月下旬にご案内させていただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

2020年度WEB開催の様子

2019年度に開催された教育・就職懇談会の様子を、以下のサイトに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。  
<https://www.andrew.ac.jp/koyu/kouenkaiweb/kondankai2020.html>



## 大阪北支部



支部長 高嶋 万州美

高嶋 万州美

大阪北支部は、大阪市と大阪北部の本学生と保護者の支部です。今年度は、コロナ禍でほとんど活動ができませんでしたが、例年は、月一回、定例会議を開催し情報交換等を行っています。情報交換と言っても堅苦しいものではなく、保護者からみた学生生活の悩みや不安を共有し、意見交換したりその場で解決できないものは、大学と連携し解決の糸口を見出したりと話をすることで気持ちもスッキリ!そして会話が弾み横道につついっ……なんてこともしばしばです。

こんな会に興味を持っていただけの方は、気軽に教育後援会までご連絡ください!

## 奈良支部



支部長 山本 裕一

山本 裕一

今年度より奈良・三重支部から奈良支部として活動することになりました。昨年度から引き続き支部長を務めます山本です。新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は奈良支部として目立った活動や支部役員会も行うことができない状況です。毎年開催する教育・就職懇談会/支部総会もWEB開催となりました。会員の皆さまと直接お会いできる機会もなく残念に思っています。新型コロナウイルスの収束を願いつつ、今後は奈良支部活動の充実や特別行事等の開催に向けて全力で取り組みたいと思っています。

## 大阪南支部



支部長 澤田 法子

橋本 和恵

平素は、桃山学院大学教育後援会大阪南支部にご協力いただきありがとうございます。昨年から新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年は殆ど活動できていません。この緊急事態に子どもたちの大学生活が、大きな支障をきたすことになりました。これから子どもたちのため、大学と保護者の方々“かけはし”となり、今までよりも協力してサポートをしなければなりません。様々な情報を保護者の方々に発信し安心して子どもたちが学べる環境にしたいものです。

私は4年間後援会に参加させてもらい、先輩の方々のアドバイスで子どもと向き合うことができました。

## 兵庫支部



支部長 野口 美鈴

野口 美鈴

子どもが大学に入学した年の6月から、教育後援会兵庫支部の役員を2年、その後支部長として2年勤めさせていただきました。その間、大学の教職員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

現在兵庫支部は5名で活動しています。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で支部委員会は2月に一回のみの開催となりました。この大役を無事に果たせたこと、そして活動を一緒にしてくださった支部役員の皆様には感謝でいっぱいです。

4年間本当にありがとうございました。

## 和歌山支部



支部長 江川 立未

江川 立未

和歌山支部は、本部役員も含めて11名のメンバーで活動しています。今年度はコロナ禍の影響により、活動が制限されましたが何とか三度の支部会議を行いました。そして、インターネット活用による就職支援講演会(就活情報提供)を実施することを決めました。

教育後援会室には多大なお世話になりながら、進めさせていただきました。今回の講演は、ジョブカフェ和歌山と大学キャリアセンターで行い、ユーチューブを視聴してもらうことにしました。1人でも多くの方が就職へのヒントを掴み、活用できることを願っています。

## 岡山支部



支部長 村田 秀石

村田 秀石

岡山支部は役員6人で活動しています。2020年度も、ささやかながら会員の交流をはかれないかと準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症が広がる中、4月以降は役員会も開けない状況が続いています。それでも、役員間ではSNSを活用して連絡を取り合うようにしています。1年前には思いもよらないような事態になっていますが、特に新入生とご家族のみなさまの心中をお察しするに余りあるものがあります。

コロナに対応できる学生支援のあり方が模索されなければならないと感じています。



## 広島・山口支部

支部長 藤山 優子

### 藤山 優子

当たり前の日常が一変した令和2年に「広島・山口支部」はスタートしました。合併前に両支部が集まって詳細な計画を立てるつもりでしたが、一度も集まることはできませんでした。大学が休校だった頃、会員の皆様に電話で近況を聞きました。子どもが大阪にいても、地元に戻っていても、我が子を案ずる親心はみな同じです。学生が当たり前に大学に通い、授業が受けられない中、大学のご尽力で「オンライン」という新しい形の学びを得ました。しかし、地方から出てきた学生にとって、友人とも会えない、帰省も許されない、孤独との闘いでもありました。この体験は人と人の関わりの大切さを痛感したのではないのでしょうか。

「みんな負けるな!もう少しの辛抱だよ!」そうエールを送りながら、私たちも1日も早く新支部の活動ができる日を待ち望んでいます。

### 瀬尾 恵子

広島支部、山口支部が合併しまして、その後コロナ禍の状況が続く中、支部としての活動は出来ません。このような状況ではありますが、支部長の藤山さんとLINEでのやりとりをよくしています。山口の様子やお互いの子どものことを聞いたりしています。また、大学側からの勉学をサポートする対応には感謝しております。役員同士が支部として寄り添った方向性を持ちながら、進んでいきたいと考えております。

## 山陰支部

支部長 黒田 正己

### 黒田 正己

山陰支部はコロナ禍により何もできないまま新しい年度を迎えます。しかし世間では2022年度の新スタイルの就活が始まりつつあります。私の職場でも採用受験案内を広くPRするよう依頼がありました。山陰ではコロナ禍に負けず頑張り抜いた桃大生のIターン、Uターンを官民挙げて歓迎しています。新年度も山陰支部の活動は未定のままで十分な支援はできませんが、お声がけいただければ地元情報の提供をすることはできます。どうかこの困難を乗り越えてください。

## 四国支部

支部長 野口 里美

### 野口 里美

会員数190名、役員11名、顧問1名で活動をしています。コロナ禍という国内のみならず、世界中が同じ状況の中、活動が開始されました。今年度は、対面での支部役員会は一度きりとなりましたが、それぞれが親元を離れ生活している子どもたちを思い、和気藹々とした情報交換会になりました。また活動当初から、LINEアプリで役員トークルームを作成し、近況を共有しており、対面での支部役員会開催が難しくなるにつれ、心強いつながりになっています。

親同士の情報交換の場として、少しでもお役に立てるよう頑張ってお参ります。

## 北陸支部

支部長 松浦 正樹

### 松浦 正樹

北陸支部 支部長をしております、松浦です。北陸支部は福井県、石川県、富山県、新潟県と縦に長い支部です。例年ですと年に数回役員がフェイスtoフェイスで会合を開き、学生に関わること、大学、後援会行事について役員で共有しております。しかしながら昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から例年通り活動が出来ていない状況です。支部で、保護者を対象としたイベントも開催できておらず、特に昨年入学した1年生の保護者の方は不安であると思います。まだ、なかなか新型コロナウイルス感染症終息の兆しが見えませんが、相談できる、そして共有できる状況を作っていきたいと考えております。

役員を、はじめ多数の保護者のご協力よろしく申し上げます。

## 九州支部

支部長 射場 小百合

### 射場 小百合

コロナ禍での大変な時ですが、皆さんお元気で過ごしてはいかがでしょうか?

九州支部は各県から支部役員が集まるので、今年度は、昨今の事情から集まることができませんでした。

例年は年に数回、福岡で役員会を開催して、楽しく情報交換しています。年に一度は教育講演会を行い、先生方のお話を拝聴したり、就職事情を伺ったりしています。

また開催できる日を心待ちにしている状況です。

学生を初め、皆さん、お体に気を付けて下さい。力を合わせてこの大変な時を乗り越えましょう。

## 東海支部



支部長 川村 さおり

川村 さおり

東海支部は愛知県、岐阜県、長野県、三重県、静岡県の5県で構成され4名の支部役員で運営しています。昨年は活動もままならなかったのですが、役員とのメールでのやり取りをしてとても心強かったです。

支部企画行事や大学行事が再開出来るようになったら、多くの保護者の方に参加していただき、情報交換の場とし活用していただけたらと思います。

## 京都・滋賀支部



本部 羽山 春美

羽山 春美

京都滋賀支部は、大学の様々な情報を保護者の皆様にお伝えし、支部活動を行ってまいりましたが、残念ながら2020年度は支部役員をお引き受けいただく方がおられず、支部は本部預かりとなりました。少しでも興味を持っていただける方は、教育後援会室までご連絡いただけたら嬉しいです。教育後援会の情報、活動は、ホームページや広報誌「かけはし」等を通して紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

## 優秀団体援助金

教育後援会は「大学の教育の発展と充実のための後援」を目的としています。その中でも学生に対する援助には6割以上の予算を組んでいます。3月に「課外活動援助金」の贈呈を行いましたのでご報告いたします。

### 課外活動援助金(優秀団体援助金)

特に優秀な成績を取めた団体に対し、奨励金として課外活動に対して援助しています。

2020年度は、ウエイトリフティング部、準硬式野球部、少林寺拳法部に合計45万円を贈呈いたしました。

## 保護者・保証人用 M-Portのご利用について

### M-Portって何？

**M-Port**とは、保護者・保証人の皆さまに、授業時間割や試験時間割をはじめ、学籍情報の閲覧や大学からのお知らせ、大学へのお問い合わせなどに活用いただける**個人ポータルサイト**です。



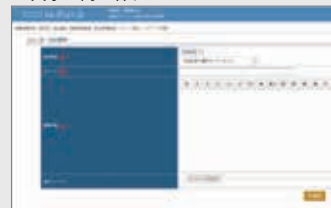
>>> 大学からのお知らせを確認する



>>> 授業時間割を確認する



>>> 大学に問い合わせる



操作マニュアルを参照してください。



マニュアル(左記QRコード・アドレス)を参照いただき、ぜひご利用ください!

<https://www.andrew.ac.jp/koyu/kouenkaiweb/pmport>



お問い合わせは、以下のメールアドレス(大学庶務課)までお願いします。

お電話 >>> **0725-54-3131(代)**

メール >>> **p-mport@andrew.ac.jp**



教育後援会  
会長 竹原 哲夫

保護者の皆様におかれましては、日頃より教育後援会活動にご理解とご支援をいただき誠に有難うございます。

教育後援会も発足から60年以上活動してまいりましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症により過去に経験をしたことが無いような生活環境の変化により、計画通りの活動の出来ない年でした。

学生の皆様も同様で、新入生の皆様にとっては希望を持って入学されたにも関わらずキャンパス生活がままならず、自分が大学生になったとの自覚も少ないのではないのでしょうか。その他の在校生の皆様も対面での授業、サークル活動や海外留学等、描いていた楽しいはずのキャンパスライフに大きな虚しさの残る一年になってしまったのではないかと懸念されます。特に、卒業生にとっては大学生活の集大成と社会人への羽ばたきの大切な年であり、未知の

活動への大きな不安に押しつぶされなかったか気になると思います。

今年も新型コロナウイルス感染症の収まる兆しがなかなか見えませんが、諦めのマイナス思考になることなく、過去や既存のものにとらわれず新しいアイデア・新しい行動が求められてくるように思えます。

2020年に体験したことをいかに有効に活用して未来を考えるか。それは、まさに新型コロナウイルス感染症に私達の知恵が試されているのではないのでしょうか。

教育後援会は、保護者の皆様や学生の皆様の声を大学へ反映できるよう新しいアイデアを取り入れながら支援活動を行ってまいります。保護者・学生の皆様、大学、教育後援会がワンチームとなって「挑戦」し、明るい未来に繋がりたいと考えます。大学とご家庭のかけはしとなり、学生の皆様の成長を願い、大学の大いなる発展の一助となりますように活動してまいりますので、今後とも皆様のご支援をお願い申し上げます。

## 桃山学院大学教育後援会とは保護者の皆様の会です

# 私達と一緒に活動しませんか？

教育後援会は、保護者・保証人と大学とのかけはしとなり、お子様の学生生活をサポートするため、様々な活動を行っています。只今、一緒に活動していただける方を募集しております。教育・就職懇談会にて各支部の役員まで、ご連絡ください。日程については、6ページを参照してください。

教育後援会のホームページにアクセスいただけるようQRコードを掲載しました。保護者・保証人の皆さまに役立つ情報を多数掲載しています。ぜひご利用ください。



### 教育後援会の主な支援内容

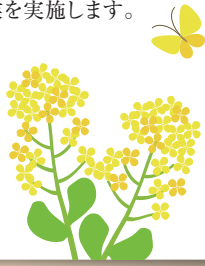
- |   |                               |   |                               |   |                            |
|---|-------------------------------|---|-------------------------------|---|----------------------------|
| 1 | クラブ・サークル活動、ボランティア活動、課外活動等への支援 | 2 | 国際交流への支援<br>(国際ワークキャンプ、海外研修等) | 3 | 教育・就職懇談会開催への支援<br>(全国13支部) |
| 4 | 支部企画による講演会等への支援               | 5 | 教育後援会経済援助奨学金                  | 6 | 広報誌「かけはし」「ももやま」の発行         |

## 春 学 期

4月 1日 (木)	新入生オリエンテーション
4月 2日 (金)	入学式
4月 6日 (火)～12日 (月)	春学期履修登録
4月 12日 (月)	春学期授業開始
4月 15日 (木)	創立記念日 (平常授業)
7月 30日 (金)	春学期授業終了
8月 2日 (月)	夏期休暇開始
8月 2日 (月)～31日 (火)	夏期集中講義期間 ※学院一斉休暇期間を除く
9月 17日 (金)	夏期休暇終了

\*以下の国民の祝日または休日は授業を実施します。

- ◎【昭和の日】4月 29日 (木)
- ◎【敬老の日】9月 20日 (月)
- ◎【秋分の日】9月 23日 (木)



## 秋 学 期

9月 20日 (月)	秋学期授業開始
9月 16日 (木)～22日 (水)	秋学期履修登録
9月 25日 (土)	9月卒業証書・学位記授与式
11月 26日 (金)	聖アンデレ日礼拝 (予定)
11月 27日 (土)	学院逝去者追悼記念礼拝 (予定)
12月 9日 (木)	クリスマス礼拝 (予定)
12月 23日 (木)	冬期休暇前授業終了
12月 24日 (金)	冬期休暇開始
1月 6日 (木)	冬期休暇終了
1月 7日 (金)	冬期休暇明け授業開始
1月 24日 (月)	秋学期授業終了
1月 25日 (火)～2月 1日 (火)	秋学期末試験
2月 7日 (月)～9日 (水)	秋学期末追試験 (予定)
3月 17日 (木)	卒業証書・学位記授与式

※大学祭は11月開催予定です。詳細は大学のホームページをご確認ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、掲載の行事等については、中止や延期、内容変更等の可能性があります。事前に大学のホームページをご確認ください。

## CONTENTS

- 1 キャリアセンターからのお知らせ
  - 2 コロナ禍での就職活動  
就職活動体験記
  - 3 学長挨拶 今後の授業形態とビジネスデザイン学部開設  
聖書の言葉
  - 4 コロナ対応の本学の取り組み
  - 5 経営学部 ビジネスデザイン学科  
2021年4月、ビジネスデザイン学部スタート!
  - 6 入学式・卒業式  
2021年度 教育・就職懇談会／支部総会について
- 支部だより
- 7 大阪北／奈良／大阪南／兵庫／和歌山／岡山
  - 8 広島・山口／山陰／四国／北陸／九州
  - 9 東海／京都・滋賀  
優秀団体援助会  
保護者・保証人用 M-Portのご利用について
  - 10 会長挨拶 コロナ禍にあつての教育後援会  
私達と一緒に活動しませんか?
- 裏表紙 2021年度 学年暦  
CONTENTS  
編集後記

## ●● 編集後記 ●●



新型コロナウイルス感染症が拡大する中、日常生活と同様に、教育後援会活動も変化しました。全国支部長会議や役員会等はWEB会議になり、支部役員の方々とも直接お会いできないまま、1年間活動してまいりました。ワクチン接種も始まり、1日でも早く皆様とお会いできることを願っております。

これからも「かけはし」を通じ、会員の皆様のお役に立てるよう情報発信してまいります。

どうぞよろしく願いいたします。  
発行にあたりご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

(教育後援会 広報 原井 尚子)

表紙写真：本学写真部 / 表紙題字：教育後援会 元副会長 佐藤 静子

## 桃山学院大学教育後援会

大阪府和泉市まなび野1番1号 TEL.0725(54)3131(代)  
URL <http://www.andrew.ac.jp/koyu/kouenkai.html>